



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2026年(令和8年)7月15日号 No.2029

目次

■ ロシアの新車販売最新動向	1
■ 統計速報	13
2026年1～5月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／13	
2026年1～5月の日ロ貿易／14	
■ エトセトラ	17
第3回カザフスタン企業連続プレゼンテーション開催のご案内／17	
■ トピックス	17
アゼルバイジャン、1年間の日本人査証免除を開始／17	
EU、アルメニアへ追加の経済支援を発表／17	
ムロオシステムズ、カザフスタンで放射性廃棄物管理のF/S実施へ／17	
日・ウクライナ、ドローン分野の産業連携基盤が始動／17	
カザフスタン憲法裁、大統領の任期リセットの判断／18	
ロシアがディーゼル燃料の輸出を全面禁止／18	
NATO、ウクライナへの支援を確認／18	
英国、ロシアのサイバー活動に新たな制裁／18	

ロシアの新車販売最新動向

はじめに

ロシアの自動車市場の調査会社、AVTOSTATが2025年と2026年上半期のロシアの乗用車販売データを発表しているため、本号では早速このデータを図表にまとめてお届けする。

概況

2025年の販売動向 2025年にロシア国内で販売された新車の台数は前年より15.6%縮小して132万6,000台あまりだった。新車販売は2021年の152万台から侵攻が始まった2022年は半分以上の63万台に落ち込んだ。しかし、2023年には106万台、2024年には157万台と侵攻前の水準まで回復していたが、2025年は廃車税率引き上げや高金利による買い控えの広がりにより減少傾向が強まった。

2022年は、西側の自動車メーカーの現地生産や輸入停止、生産に必要な部品の調達困難で販売台数が大幅に落ち込んだ。しかし、2023年以降、その影響が緩和され、撤退した西側メーカーに代わって中国の自動車メーカーが販売を本格化させたこともあって、供給不安が解消し、回復基調が鮮明となり、2024年にはロシア経済が成長を維持していたことも追い風となり、新車販売は急増し